

遠賀川 直方の水辺の景観デザインと空間利用の変遷 に関する研究

竹林, 知樹

<https://hdl.handle.net/2324/7157341>

出版情報 : Kyushu University, 2023, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	竹林 知樹
論文名	遠賀川 直方の水辺の景観デザインと空間利用の変遷に関する研究
論文調査委員	主査 九州大学准教授 樋口 明彦 副査 九州大学教授 笠間 清伸 副査 九州大学准教授 広城 吉成

論文審査の結果の要旨

これまで日本の土木分野において河川空間も含めパブリックスペースのデザイン意図がどの程度達成されたかについての検証や分析は乏しい。社会基盤事業への投資が今後選別されていく中で、事業のデザイン意図と利用実態の把握、検証は重要になってくると考えられ、知見を蓄積する必要がある。

本論文は、遠賀川河川敷で実施された市民参加型河川改修事業を対象に、デザイン時に意図された整備効果の実現度合を把握する手法として、空間利用者の動線調査とヒアリング調査を併用した長期的・継続的な検証手法を採用し、それによって個別のデザイン意図の実現度合を把握することが十分可能であることを示している。これは、今後の社会基盤整備事業における空間デザインについての事業効果検証を推進していくうえで大変貴重かつ有用な知見である。よって本論文は博士(工学)の学位論文に値するものと認める。